

地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	()
目標年度	令和17年
市町村名 (市町村コード)	大豊町 (39344)
地域名 (地域内農業集落名)	豊永地区 (西土居、佐賀山、安野々、東梶ヶ内、西久保、川戸、連火、下桃原、上桃原、東土居、八川)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	26.91 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	26.91 ha
② 田の面積	5.63 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	21.28 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	0.5547 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	0.51 ha
(参考)区域内における〇才以上の農業者の農地面積の合計	ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	ha

(備考)

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:(参考)の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するよう努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

主に水稻、柚子、ミニトマト、ニンジン、生姜、ゼンマイ、茶、山椒を生産している地区である。
農業者の高齢化が進み、後継者も不足している。また、昨今の定年延長により定年帰農の時期が遅くなり、農業者の確保が更に困難になってきている。新規就農者を呼び込むとしても、生活環境の充実が必要である。
狭小な農地が多く、規模を拡大したい農業者はいるが、所有者の意向が不明な農地や未登記の農地が増えており、売買や貸借がしづらい。
作業道や水路の整備が進んでおらず、農地及び作業道周辺の木も大きくなり日照不足や枝葉の飛散が生じており、さらに鳥獣被害も深刻である。営農条件の改善が急務である。
出荷場が遠く、時間と手間がかかりうえ、昨今の燃料代等の高騰が更に農業経営を圧迫している。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

緩傾斜の農地を中心に、現在の農地の維持に取り組む。作業道の整備や農地周辺の木の伐採、鳥獣対策を進め、営農環境を整える。

高品質のゼンマイを活かして、収益が上げられるようにする。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1)農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
比較的傾斜の緩い農用地があるため、優先順位を考えながら保全・利用を検討していく。			
(2)担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	21.55 %	将来の目標とする集積率	21.55 %
(3)農用地の集団化(集約化)に関する目標			
傾斜が急な地区であるため、集団化は困難である。一方、営農効率を良くするように、合意形成がとれるほ場については集約化を図る。			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組 認定農業者など、集積、集約化をしたい希望はあるが、未登記農地や所有者の意向が分からぬ農地がある。農地の状況を把握するとともに、集積、集約化しやすいよう、地区に密着した仲介役が求められる。
(2)農地中間管理機構の活用方法 必要に応じて活用する。
(3)基盤整備事業への取組 作業道、農地区画の拡大を行い、作業効率を向上させる必要がある。「農地耕作条件改善事業」等、中山間地域に合った補助事業を活用する。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組 移住してきた就農者も多い地区なので、移住者の獲得、サポートには強みを持っている。農業モデルの確立、農業者個人への補助を行い、多様な担い手を確保する。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組 株式会社大豊ゆとりファームをはじめ、農作業受託を行っている組織を活用する。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

<input checked="" type="checkbox"/>	①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/>	②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/>	③スマート農業	<input type="checkbox"/>	④畑地化・輸出等	<input type="checkbox"/>	⑤果樹等
<input type="checkbox"/>	⑥燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/>	⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/>	⑧農業用施設	<input type="checkbox"/>	⑨耕畜連携等	<input checked="" type="checkbox"/>	⑩その他

【選択した上記の取組内容】

- ①鳥獣対策の専門員を構え、現場に応じた迅速な対策ができるようにする。
- ⑦農地周辺の木の伐採が急務である。林業者への補助など行政からのサポートが必要である。作業道の設置、修繕についても行政のサポートを使いながら、営農環境を改善する。
- ⑩気候、土壤に合った営農を指導できる者を設置しサポートしてもらう。
新規就農者に対して、農業面だけでなく、空き家の活用、集合住宅の設置等、移住者の住環境も整える。
地区的話し合いの場の数を増やす等、今後の農業や地区の行事について話し合う場を設ける。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 年度)				備考
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	
		ha	ha		ha	ha			
		ha	ha		ha	ha			
		ha	ha		ha	ha			
		ha	ha		ha	ha			
		ha	ha		ha	ha			
		ha	ha		ha	ha			
		ha	ha		ha	ha			
		ha	ha		ha	ha			
		ha	ha		ha	ha			
		ha	ha		ha	ha			
		ha	ha		ha	ha			
		ha	ha		ha	ha			
		ha	ha		ha	ha			
		ha	ha		ha	ha			
		ha	ha		ha	ha			
		ha	ha		ha	ha			
		ha	ha		ha	ha			
		ha	ha		ha	ha			
		ha	ha		ha	ha			
		ha	ha		ha	ha			
		ha	ha		ha	ha			
		ha	ha		ha	ha			
		ha	ha		ha	ha			
		ha	ha		ha	ha			
		ha	ha		ha	ha			
計	0経営体	0 ha	0 ha		0 ha	0 ha			

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。

2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。

3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。

4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。

5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目

6 目標地図(別添のとおり)

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人)	うち計画同意者数(人・%)
-------------	---------------

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。

注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。

注3:提案する地区的対象となる範囲を目標地図に明記してください。

(留意事項)

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報を保有するに当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

66	利用者	RH	水稻、野菜、果樹	0.88	ha	ha	水稻、野菜、果樹	0.88	ha	ha	RH	
67					ha	ha			ha	ha		
68					ha	ha			ha	ha		
69					ha	ha			ha	ha		
70					ha	ha			ha	ha		
71					ha	ha			ha	ha		
72					ha	ha			ha	ha		
73					ha	ha			ha	ha		
74					ha	ha			ha	ha		
75					ha	ha			ha	ha		
76					ha	ha			ha	ha		
77					ha	ha			ha	ha		
78					ha	ha			ha	ha		
79					ha	ha			ha	ha		
80					ha	ha			ha	ha		
81					ha	ha			ha	ha		
82					ha	ha			ha	ha		
83					ha	ha			ha	ha		
84					ha	ha			ha	ha		
85					ha	ha			ha	ha		
86					ha	ha			ha	ha		
87					ha	ha			ha	ha		
88					ha	ha			ha	ha		
89					ha	ha			ha	ha		
90					ha	ha			ha	ha		
91					ha	ha			ha	ha		
92					ha	ha			ha	ha		
93					ha	ha			ha	ha		
94					ha	ha			ha	ha		
95					ha	ha			ha	ha		
96					ha	ha			ha	ha		
97					ha	ha			ha	ha		
98					ha	ha			ha	ha		
99					ha	ha			ha	ha		
100					ha	ha			ha	ha		
101					ha	ha			ha	ha		
102					ha	ha			ha	ha		
103					ha	ha			ha	ha		
104					ha	ha			ha	ha		
105					ha	ha			ha	ha		
106					ha	ha			ha	ha		
107					ha	ha			ha	ha		
108					ha	ha			ha	ha		
109					ha	ha			ha	ha		
110					ha	ha			ha	ha		
111					ha	ha			ha	ha		
112					ha	ha			ha	ha		
113					ha	ha			ha	ha		
114					ha	ha			ha	ha		
115					ha	ha			ha	ha		
116					ha	ha			ha	ha		
117					ha	ha			ha	ha		
118					ha	ha			ha	ha		
119					ha	ha			ha	ha		
120					ha	ha			ha	ha		
121					ha	ha			ha	ha		
122					ha	ha			ha	ha		
123					ha	ha			ha	ha		
124					ha	ha			ha	ha		
125					ha	ha			ha	ha		
126					ha	ha			ha	ha		
127					ha	ha			ha	ha		
128					ha	ha			ha	ha		
129					ha	ha			ha	ha		
130					ha	ha			ha	ha		
131					ha	ha			ha	ha		
132					ha	ha			ha	ha		
133					ha	ha			ha	ha		
134					ha	ha			ha	ha		
135					ha	ha			ha	ha		
136					ha	ha			ha	ha		
137					ha	ha			ha	ha		
138					ha	ha			ha	ha		
139					ha	ha			ha	ha		